

**令和4年度
決算の概要について
(一般会計・特別会計)**



目 次

項 目	ページ
◇ 令和4年度決算の概要について(一般会計・特別会計)	
1 令和4年度の財政運営	1
2 一般会計の決算状況	2
① 決算規模	2
(1) 決算収支	2
(2) 歳入の決算状況	3
(3) 歳出(目的別)の決算状況	7
(4) 歳出(性質別)の決算状況	11
② 基金残高の状況	14
③ 市債残高の状況	14
3 特別会計の決算状況	15
① 国民健康保険事業会計	15
② 貯木事業会計	15
③ 駐車場事業会計	16
④ 介護保険事業会計(保険事業勘定)	16
// (介護サービス事業勘定)	17
⑤ 後期高齢者医療事業会計	17
4 主要財政指標等の推移(平成30年度～令和4年度)	18
5 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率等の状況	19

1 令和4年度の財政運営

令和4年度は、影響が長期化する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、引き続き、ワクチン接種事業を実施したことに加え、原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰に直面し日常生活や経済活動に大きな影響を受けた市民や事業者への支援はもちろんのこと、感染症に打ち勝ち、乗り越える「ビヨンド・コロナ社会」の実現に向けた事業など、迅速かつ効果的な施策に取り組むとともに、第7次総合計画・前期実行計画の最終年として、移住・定住の促進、子育て環境日本一に向けた子どもの豊かな育ちを支える環境づくりなど数々の事業に取り組んだ結果、歳出総額は382億637万円となりました。

歳入では、償却資産の減少等による固定資産税の落ち込みなどにより市税が減少したほか、臨時財政対策債の借入を行わなかったことにより地方債が減少した一方で、普通交付税の追加交付に伴い地方交付税が増加したことなどにより、歳入総額392億5,750万円を確保しました。

この結果、歳入歳出の差引残額は10億5,112万円となり、令和5年度への繰越財源3億9,768万円を差し引いた実質収支額は6億5,344万円となりました。

また、特別会計においては、国民健康保険事業会計をはじめとする全5会計で黒字決算となりました。

基金残高は、スポーツ施設の整備に要する経費の財源に充てるためのスポーツ施設整備基金を新たに設置したほか、財政調整積立金の取崩しを行わなかったことなどにより、一般会計で10億8,878万円増額し123億9,929万円となり、一般会計・特別会計の合計で12億2,841万円増額し139億4,839万円となりました。

市債残高は、一般会計で、前年度から21億2,425万円減少し349億6,676万円となりました。

※以降の資料の各数値は、単位未満四捨五入を基本に処理を行っております。

【参考】 令和4年度各会計決算状況

(単位:千円)

会計名	歳入 (A)	伸率	歳出 (B)	伸率	歳入歳出差引 (C)=(A)-(B)	翌年度に繰り越すべき財源 (D)	実質収支額 (E)=(C)-(D)
一般会計	39,257,502	-7.7%	38,206,373	-6.7%	1,051,129	397,687	653,442
特別会計	18,269,494	0.9%	17,898,640	2.1%	370,854	-	370,854
国民健康保険事業会計	8,094,674	0.5%	8,051,305	3.3%	43,369	-	43,369
貯木事業会計	715	13.9%	715	14.0%	0	-	0
駐車場事業会計	44,088	-57.8%	44,087	-54.1%	1	-	1
介護保険事業会計	8,676,101	1.3%	8,354,829	1.0%	321,272	-	321,272
〔保険事業勘定〕	8,664,704	1.3%	8,347,804	1.0%	316,900	-	316,900
〔介護サービス事業勘定〕	11,397	6.7%	7,025	12.9%	4,372	-	4,372
後期高齢者医療事業会計	1,453,915	5.9%	1,447,703	5.9%	6,212	-	6,212
総計	57,526,995	-5.1%	56,105,013	-4.1%	1,421,982	397,687	1,024,295

一般会計 昭和50年度以降連続黒字決算

特別会計 全ての会計(5会計)で黒字決算

※特別会計の計及び総計については、会計毎の端数処理により合致しない場合があります。

2 一般会計の決算状況

① 決算規模

(1) 決算収支

【前年度比較】

	令和4年度 決算額 A	令和3年度 決算額 B	差引 C	増減率 C/B	(参考) 令和2年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	39,257,502	42,517,727	△ 3,260,225	△ 7.7	45,361,434
歳出総額 b	38,206,373	40,944,559	△ 2,738,186	△ 6.7	44,708,125
歳入歳出差引 c = a - b	1,051,129	1,573,168	△ 522,039	△ 33.2	653,309
翌年度に繰り 越すべき財源 d	397,687	94,884	302,803	319.1	351,010
実質収支 e = c - d	653,442	1,478,284	△ 824,842	△ 55.8	302,299

※昭和50年度以降連続黒字

令和4年度は子育て世帯等臨時特別支援事業費や次期最終処分場整備事業費などが減少したことにより、歳入・歳出ともに前年度に比べ減少となりました。

歳出面では、市内事業者に対する原油価格・物価高騰緊急対策事業関連経費や、京都市中・北部地域消防指令センター整備事業費、校務系ネットワーク整備事業費などの事業を実施する一方で、子育て世帯等臨時特別支援事業費等の減少や、地方創生拠点整備事業費、清掃事務所第一工場整備事業費、次期最終処分場整備事業費などの大型事業が減少した結果、前年度比で27億3,819万円の減少となりました。

一方、歳入面は、地方交付税が3億547万円、ふるさと応援寄附金などの寄附金が1億3,617万円、繰越金が9億1,986万円とそれぞれ増加する一方で、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金をはじめとする国庫支出金が23億4,554万円、計画的に市債の発行抑制を行ったことにより市債が20億2,690万円それぞれ減少となり、前年度比32億6,023万円の減少となりました。

また、令和3年度と比べ、翌年度に繰り越すべき財源は3億280万円増加し、実質収支は8億2,484万円減少となりました。

【予算・決算比較】

	令和4年度 決算額 A	令和4年度 予算額 D	差引 E = D - A	比率 A/D
	千円	千円	千円	%
歳入総額 a	39,257,502	41,559,534	2,302,032	94.5
歳出総額 b	38,206,373	41,559,534	3,353,161	91.9
歳入歳出差引 c = a - b	1,051,129			

	令和3年度 決算額 B	令和3年度 予算額 D'	差引 E' = D' - B	比率 B/D'
	千円	千円	千円	%
歳入総額 a	42,517,727	44,176,779	1,659,052	96.2
歳出総額 b	40,944,559	44,176,779	3,232,220	92.7
歳入歳出差引 c = a - b	1,573,168			

令和4年度は、歳入予算に対する執行率は94.5%（対前年度比1.7%減）、歳出予算の執行率については91.9%（対前年度比0.8%減）となり、いずれも前年度を下回っていますが、これは翌年度において執行する繰越明許費が前年度より増加したことなどに伴うものです。

(2) 歳入の決算状況

科目	令和4年度 決算額 A 千円	令和3年度 決算額 B 千円	差引 C = A - B 千円	増減率 C / B %	※歳入 構成比 %
歳入総額	39,257,502	42,517,727	△ 3,260,225	△ 7.7	

令和4年度は、地方交付税が追加交付により前年度比3億547万円の増加となったものの、借入を行わなかったことにより臨時財政対策債は前年度比11億2,200万円の減少となり、一般財源である1款 市税から14款 交通安全対策特別交付金の合計額は、220億5,167万円となり、前年度比9億6,337万円の減少となりました。

また、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金の減少などにより国庫支出金が23億4,554万円、臨時財政対策債を除く地方債が9億490万円それぞれ減少する一方、ふるさと応援寄附金の増により寄附金が1億3,617万円、繰越金が9億1,986万円それぞれ増加となりました。

1 市 税	11,657,683	11,736,299	△ 78,616	△ 0.7	29.7
--------------	------------	------------	----------	-------	------

【主な増減事由】

市民税（個人）			△ 74,429	△ 1.8	10.2
市民税（法人）			49,346	9.9	1.4
市たばこ税			20,259	3.3	1.6
軽自動車税			17,317	6.0	0.8
固定資産税（土地・家屋・償却資産）			△ 92,275	△ 1.5	15.5

2 地方譲与税	336,787	332,406	4,381	1.3	0.9
----------------	---------	---------	-------	-----	-----

3 利子割交付金	4,350	9,129	△ 4,779	△ 52.3	0.0
-----------------	-------	-------	---------	--------	-----

4 配当割交付金	85,410	88,791	△ 3,381	△ 3.8	0.2
-----------------	--------	--------	---------	-------	-----

5 株式等譲渡所得割交付金	59,218	103,346	△ 44,128	△ 42.7	0.1
----------------------	--------	---------	----------	--------	-----

6 法人事業税交付金	156,849	102,984	53,865	52.3	0.4
-------------------	---------	---------	--------	------	-----

7 地方消費税交付金	1,907,023	1,865,858	41,165	2.2	4.9
-------------------	-----------	-----------	--------	-----	-----

8 ゴルフ場利用税交付金	5,381	5,999	△ 618	△ 10.3	0.0
---------------------	-------	-------	-------	--------	-----

9 自動車取得税交付金	1,086	20	1,066	5,330.0	0.0
--------------------	-------	----	-------	---------	-----

10 環境性能割交付金	51,760	35,175	16,585	47.1	0.1
--------------------	--------	--------	--------	------	-----

11 国有提供施設等所在市町村助成交付金	140,522	138,353	2,169	1.6	0.4
-----------------------------	---------	---------	-------	-----	-----

12 地方特例交付金	77,409	210,736	△ 133,327	△ 63.3	0.2
-------------------	--------	---------	-----------	--------	-----

13 地方交付税	7,560,597	7,255,126	305,471	4.2	19.3
-----------------	-----------	-----------	---------	-----	------

【主な増減事由】

普通交付税	271,487	4.5
特別交付税	33,984	2.9

14 交通安全対策特別交付金	7,593	8,819	△ 1,226	△ 13.9	0.0
-----------------------	-------	-------	---------	--------	-----

15 分担金及び負担金	51,070	41,225	9,845	23.9	0.1
--------------------	--------	--------	-------	------	-----

【主な増減事由】

基盤整備促進事業費分担金	7,122	569.8
老人福祉施設入所費負担金	2,264	14.5
保育所保育料	1,008	5.4
海岸保全施設整備事業費分担金	△ 347	△ 12.0

16 使用料及び手数料	668,724	650,736	17,988	2.8	1.7
--------------------	---------	---------	--------	-----	-----

【主な増減事由】

東地区中心市街地複合施設使用料	14,583	皆増
休日急病診療所診療収入	10,706	418.5
赤れんがパーク使用料	7,892	皆増
赤れんが博物館入館料	7,879	135.6
引揚記念館入館料	7,598	100.9
不燃ごみ等直接搬入手数料	4,308	36.5
住宅使用料（滞納繰越分）	4,131	皆増
可燃ごみ直接搬入手数料	2,715	21.1
ごみ処理手数料	△ 44,087	△ 19.6

17 国庫支出金	8,429,465	10,775,000	△ 2,345,535	△ 21.8	21.5
-----------------	-----------	------------	-------------	--------	------

【主な増減事由】

子どものための教育・保育給付交付金	101,510	16.6
新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金	93,422	313.9
デジタル田園都市国家構想交付金	84,069	皆増
子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金	△ 1,374,519	△ 61.5
防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金	△ 302,272	△ 27.6
地方創生拠点整備交付金	△ 271,716	皆減
新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金	△ 136,081	△ 37.9
生活保護費負担金	△ 124,860	△ 10.3
新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化事業費交付金	△ 111,550	皆減
循環型社会形成推進交付金	△ 101,256	皆減
地方創生推進交付金	△ 77,869	皆減
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金	△ 66,785	△ 31.1
社会資本整備総合交付金	△ 60,525	△ 16.4

18 府支出金	2,977,492	3,047,029	△ 69,537	△ 2.3	7.6
----------------	-----------	-----------	----------	-------	-----

【主な増減事由】

子どものための教育・保育給付交付金	59,420	20.6
認定こども園施設整備費補助金	52,522	847.8
参議院議員通常選挙委託金	43,160	皆増
府営土地改良事業委託金	18,181	390.2
京都府議会議員一般選挙委託金	14,072	皆増
緊急時避難円滑化事業費補助金	11,834	皆増
国土調査費補助金	11,327	373.1
地域密着型サービス等整備助成事業補助金	△ 200,505	皆減
衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査委託金	△ 40,311	皆減
農村地域防災減災事業費補助金	△ 32,286	△ 91.8

19 財産収入	117,870	161,999	△ 44,129	△ 27.2	0.3
----------------	---------	---------	----------	--------	-----

【主な増減事由】

舞鶴市花と緑の公社清算分配金	△ 20,000	皆減
土地売却収入	△ 17,239	△ 63.1
舞鶴市文化事業団清算分配金	△ 10,000	皆減

20 寄附金	330,453	194,287	136,166	70.1	0.8
---------------	---------	---------	---------	------	-----

【主な増減事由】

ふるさと応援寄付金	171,629	109.2
一般寄附金	△ 30,964	皆減

21 繰入金	241,398	191,916	49,482	25.8	0.6
---------------	---------	---------	--------	------	-----

【主な増減事由】

電源立地地域対策基金繰入金	54,300	4,525.0
ふるさと応援基金繰入金	14,319	127.7
豊かな森を育てる基金（森林環境譲与税分）繰入金	11,176	皆増
市民福祉ささえあい基金繰入金	8,291	79.9
文化・スポーツ振興基金繰入金	2,366	34.8
学校給食運営基金繰入金	△ 33,769	△ 22.9
豊かな森を育てる基金（府民税交付金分）繰入金	△ 5,033	皆減

22 繰越金	1,573,168	653,309	919,859	140.8	4.0
---------------	-----------	---------	---------	-------	-----

【主な増減事由】

現年度	1,175,985	389.0
繰越明許費	14,783	18.6
事故繰越	△ 270,909	△ 99.7

23 諸収入	1,262,804	1,328,892	△ 66,088	△ 5.0	3.2
---------------	-----------	-----------	----------	-------	-----

【主な増減事由】

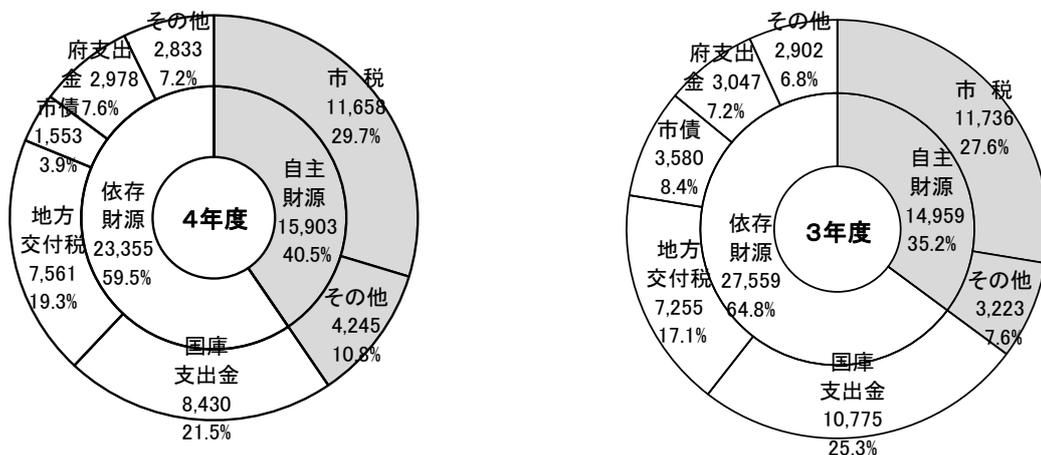
災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金	143,384	皆増
独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金	12,896	1,630.3
地域開発用地等先行取得資金貸付金収入	△ 90,696	△ 23.9
中小企業資金融資制度貸付金収入	△ 90,000	△ 25.9
京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合返還金	△ 46,277	△ 70.1
後期高齢者医療療養給付費負担金返還金	△ 2,887	△ 4.1

24 市債	1,553,390	3,580,293	△ 2,026,903	△ 56.6	4.0
--------------	-----------	-----------	-------------	--------	-----

【主な増減事由】

建設地方債	△ 904,903	△ 36.8
臨時財政対策債	△ 1,122,000	皆減

歳入構成（自主財源・依存財源別）（単位：百万円）



(3) 歳出(目的別)の決算状況

科目	令和4年度 決算額 A 千円	令和3年度 決算額 B 千円	差引 C = A - B 千円	増減率 C / B %	※歳出 構成比 %
----	----------------------	----------------------	-----------------------	-------------------	-----------------

歳出総額	38,206,373	40,944,559	△ 2,738,186	△ 6.7	
-------------	------------	------------	-------------	-------	--

歳出(目的別)においては、総務費の減債基金積立金や民生費の子育て世帯等臨時特別支援事業費等の減少のほか、総務費の地方創生拠点整備事業費や衛生費の清掃事務所第一工場整備事業費、次期最終処分場整備事業費などの大型整備事業がそれぞれ減少しました。

一方、土木費の都市開発推進基金積立金や消防費の京都市中・北部地域消防指令センター整備事業費、教育費の校務系ネットワーク整備事業費のほか、市内事業者に対する原油価格・物価高騰緊急対策事業関連経費などによりそれぞれ増加しました。

この結果、歳出総額では、前年度比で27億3,819万円の減少となりました。

議会費	303,586	340,496	△ 36,910	△ 10.8	0.8
------------	---------	---------	----------	--------	-----

【主な増減事由】

議会活動経費	9,214	175.6
新型コロナウイルス感染症対策市議会環境整備事業費	△ 38,500	皆減
議員報酬等経費	△ 3,914	△ 2.1
地方議会議員共済会給付等負担金	△ 1,922	△ 4.1

総務費	6,193,870	6,685,353	△ 491,483	△ 7.4	16.2
------------	-----------	-----------	-----------	-------	------

【主な増減事由】

財政調整積立金	268,000	56.4
赤れんがパーク等整備事業費	89,136	6,113.6
ふるさと応援推進事業費	74,663	101.5
過年度税外収入還付金	116,125	162.6
市議会議員一般選挙経費	64,471	皆増
地域の魅力発信等向上事業費	△ 91,074	皆減
減債基金積立金	△ 419,000	△ 99.8
地方創生拠点整備事業費	△ 673,307	△ 61.5

民生費	13,085,585	14,621,240	△ 1,535,655	△ 10.5	34.3
------------	------------	------------	-------------	--------	------

【主な増減事由】

障害者共同生活援助給付費	19,559	9.7
公私連携幼保連携型認定こども園等整備事業費	95,219	皆増
子育て世帯緊急生活支援給付金給付事業費	15,572	皆増
私立認定こども園等施設整備事業費補助金	23,845	皆増
私立認定こども園移行改修費支援事業費補助金	130,111	131.9
臨時特別給付金給付事業費	△ 217,399	△ 21.5
国民健康保険事業会計繰出金	△ 32,746	△ 5.0
地域密着型サービス拠点施設整備費補助金	△ 200,505	皆減
子育て世帯等臨時特別支援事業費	△ 1,211,749	△ 99.3
保育所等ICT化推進事業費	△ 7,710	皆減
新型コロナウイルス感染症対策放課後児童クラブ整備事業費	△ 10,212	皆減
子育てにやさしいまちづくり事業費	△ 14,682	皆減

衛生費	3,907,803	5,272,457	△ 1,364,654	△ 25.9	10.2
------------	-----------	-----------	-------------	--------	------

【主な増減事由】

出産・子育て応援事業費	60,728	皆増
病院施設等原油価格・物価高騰緊急対策事業給付金	8,700	皆増
公共施設再生可能エネルギー利活用調査事業費	△ 26,455	△ 42.9
保健福祉情報システム管理経費	△ 8,851	△ 84.4
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	△ 66,189	△ 31.0
新型コロナウイルスワクチン接種事業費	△ 138,500	△ 38.3
新型コロナウイルスワクチン接種看護師支援事業費	△ 3,270	皆減
ごみ減量化推進事業費	△ 42,331	△ 40.7
次期最終処分場整備事業費	△ 686,571	皆減
清掃事務所施設施設改修事業費	△ 89,410	△ 48.0
清掃事務所第一工場整備事業費	△ 388,304	△ 31.1

労働費	50,642	53,470	△ 2,828	△ 5.3	0.1
------------	--------	--------	---------	-------	-----

【主な増減事由】

U I J 人材獲得支援事業費	2,385	皆増
シルバー人材センター事業費補助金	△ 1,201	△ 8.6
新型コロナウイルス感染症対策中小企業雇用調整助成金	△ 4,061	△ 51.4

農林水産業費	755,927	910,987	△ 155,060	△ 17.0	2.0
---------------	---------	---------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

農業生産施設緊急復旧対策事業費補助金	13,450	皆増
基盤整備促進事業費	16,542	222.6
漁業者原油価格・物価高騰緊急対策事業費	12,388	皆増
新型コロナウイルス感染症対策農業公園等施設整備事業費	△ 19,484	皆減
農村地域防災減災事業費	△ 32,286	△ 91.8
災害に強い森づくり事業費	△ 7,184	△ 24.8
豊かな森を育てる基金積立金（森林環境譲与税分）	△ 21,590	皆減
林道改良事業費	△ 6,100	△ 29.6
新型コロナウイルス感染症対策漁村活性化センター施設整備事業費	△ 23,143	皆減
新型コロナウイルス感染症対策まいづる冬グルメキャンペーン事業費補助金	△ 72,060	皆減
漁港海岸保全対策事業費	△ 11,395	△ 11.2

商工費	1,095,993	990,571	105,422	10.6	2.9
------------	-----------	---------	---------	------	-----

【主な増減事由】

観光周遊促進クーポン発行事業費	21,339	皆増
まいづるグルメクーポン2022発行事業費	37,311	皆増
まいづる小売サービスプレミアム商品券2022発行事業費	42,115	皆増
事業者等原油価格・物価高騰緊急対策事業給付金	232,316	皆増
中小企業融資制度貸付金	△ 90,000	△ 25.9
新型コロナウイルス感染症対策「まいづる地域商品券」発行事業費	△ 12,382	皆減
新型コロナウイルス感染防止対策認証飲食店応援クーポン発行事業費	△ 14,910	皆減
新型コロナウイルス感染症対策緊急事態措置協力金市町村負担金	△ 11,608	皆減
新型コロナウイルス感染症対策事業継続一時支援金給付事業費	△ 40,774	皆減
新型コロナウイルス感染症対策事業継続月次支援金給付事業費	△ 49,349	皆減

土木費	3,942,910	3,912,637	30,273	0.8	10.3
------------	-----------	-----------	--------	-----	------

【主な増減事由】

地域間連絡道路整備事業費	29,764	173.7
まちづくり推進事業費	80,633	296.7
都市開発推進基金積立金	278,190	400.0
公営住宅改善事業費	51,692	951.1
道路除雪対策事業費	△ 89,907	△ 47.2
幹線道路整備事業費	△ 124,487	△ 23.6
地域内道路整備事業費	△ 33,100	△ 78.0
道路施設長寿命化事業費	△ 64,396	△ 65.6
道路浸水対策事業費	△ 29,190	皆減
橋りょう長寿命化事業費	△ 26,482	△ 13.4
府道小倉西舞鶴線等改良促進事業費	△ 39,673	△ 69.0

消 防 費	1,656,092	1,356,467	299,625	22.1	4.3
--------------	-----------	-----------	---------	------	-----

【主な増減事由】

団員報酬	24,231	127.2
消防団員退職報償金	17,489	75.1
京都府中・北部地域消防指令センター整備事業費	142,826	3,699.2
消防施設整備事業費	7,273	5.1
西消防署整備事業費	83,600	皆増
ハザードマップ作成事業費	10,857	10,966.7
総合防災訓練実施事業費	△ 1,666	皆減

教 育 費	3,410,462	3,026,030	384,432	12.7	8.9
--------------	-----------	-----------	---------	------	-----

【主な増減事由】

校務系ネットワーク整備事業費	148,600	皆増
校舎等改修事業費（小学校費）	22,337	皆増
施設整備事業費（小学校費）	171,742	230.4
施設型給付費	96,077	47.0
中総合会館整備事業費	70,172	皆増
電子図書館整備事業費	17,391	皆増
体育施設整備事業費	18,844	146.3
スポーツ施設整備基金積立金	55,000	皆増
教育用コンピュータ経費	△ 26,819	△ 39.0
学校給食運営基金積立金	△ 113,581	△ 99.9
未来を拓く学びの環境整備事業費（小学校費）	△ 61,344	皆減
施設等利用費	△ 50,030	△ 15.5

公 債 費	3,803,503	3,774,851	28,652	0.8	10.0
--------------	-----------	-----------	--------	-----	------

【主な増減事由】

建設地方債	△ 16,609	△ 0.7
その他	45,261	3.1

(4) 歳出(性質別)の状況

科目	令和4年度 決算額 A 千円	令和3年度 決算額 B 千円	差引 C = A - B 千円	増減率 C / B %	※歳出 構成比 %
----	----------------------	----------------------	-----------------------	-------------------	-----------------

歳出(性質別)において、物件費では、ふるさと納税の増加に伴うふるさと応援推進事業費や選挙の執行経費、電気代の高騰により学校をはじめとした施設管理運営経費の増等により4億9,580万円の増加、補助費等では、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策として実施した原油価格・物価高騰緊急対策事業給付金やまいづるグルメクーポン2022発行事業費、まいづる小売サービスプレミアム商品券2022発行事業費等により1億4,874万円の増加となっています。一方で、扶助費では、臨時特別給付金給付事業費や子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費等新型コロナウイルス感染症の影響を受けている世帯等に対する支援策の終了により14億7,943万円の減少、普通建設事業費では、次期最終処分場の完成や赤れんがパーク周辺整備に係る地方創生拠点整備事業費及び清掃事務所第一工場整備事業費等の減により19億6,842万円の減少となっています。

義務的経費	19,313,347	20,618,588	△ 1,305,241	△ 6.3	50.6
--------------	------------	------------	-------------	-------	------

人件費	6,966,932	6,821,399	145,533	2.1	18.2
------------	-----------	-----------	---------	-----	------

【主な増減事由】

職員給(一般)	△ 64,499	△ 1.6
会計年度任用職員	28,413	3.6
委員等報酬	63,115	114.8
退職手当(会計年度任用職員(フルタイム)含む)	196,401	36.5
市町村職員共済組合負担金	△ 18,412	△ 2.2

扶助費	8,542,912	10,022,338	△ 1,479,426	△ 14.8	22.4
------------	-----------	------------	-------------	--------	------

【主な増減事由】

施設型給付費(幼稚園費)	96,077	47.0
臨時特別給付金給付事業費	△ 224,150	△ 22.4
子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費	△ 1,217,500	皆減
医療扶助費	△ 64,099	△ 7.4
施設等利用費(幼稚園費)	△ 50,029	△ 15.5

公債費	3,803,503	3,774,851	28,652	0.8	10.0
------------	-----------	-----------	--------	-----	------

【主な増減事由】

元金	44,536	1.2
利子	△ 15,884	△ 11.2

その他	14,645,511	14,110,039	535,472	3.8	38.3
物件費	5,485,528	4,989,729	495,799	9.9	14.3

【主な増減事由】

ふるさと応援推進事業費	119,188	419.2
固定資産税評価替経費	27,771	388.4
選挙執行経費（市議会議員ほか）	57,634	281.3
可燃ごみ収集事業費	251,768	皆増
校務系ネットワーク整備事業費	148,600	皆増
小学校一般管理経費（光熱水費含む経費）	55,538	37.6
中学校一般管理経費（光熱水費含む経費）	29,906	24.8
新型コロナウイルス感染症対策市役所機能強化事業費	△ 56,283	皆減
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	△ 69,160	△ 34.8
新型コロナウイルスワクチン接種事業費	△ 108,839	△ 36.9
ごみ減量化推進事業費	△ 42,447	△ 41.5

維持補修費	183,674	260,562	△ 76,888	△ 29.5	0.5
--------------	---------	---------	----------	--------	-----

補助費等	3,739,480	3,590,744	148,736	4.1	9.8
-------------	-----------	-----------	---------	-----	-----

【主な増減事由】

過年度税外収入還付金	116,125	162.6
出産・子育て応援事業費	59,800	皆増
まいづるグルメクーポン2022発行事業費	29,861	皆増
まいづる小売サービスプレミアム商品券2022発行事業費	29,900	皆増
事業者等原油価格・物価高騰緊急対策事業給付金	230,650	皆増
可燃ごみ収集事業費	△ 248,681	皆減
新型コロナウイルス感染症対策まいづる冬グルメキャンペーン事業費補助金	△ 72,060	皆減

積立金	1,329,151	1,230,986	98,165	8.0	3.5
------------	-----------	-----------	--------	-----	-----

【主な増減事由】

財政調整積立金	268,000	56.4
ふるさと応援基金積立金	55,591	136.9
都市開発推進基金積立金	278,190	400.0
スポーツ施設整備基金積立金	55,000	皆増
減債基金積立金	△ 419,000	△ 99.8
豊かな森を育てる基金積立金（森林環境譲与税分）	△ 21,590	皆減
学校給食運営基金積立金	△ 113,581	△ 99.9

出資金・貸付金	659,244	742,227	△ 82,983	△ 11.2	1.7
----------------	---------	---------	----------	--------	-----

【主な増減事由】

介護人材確保支援事業費	8,370	85.6
水道事業会計出資金（旧簡易水道分）	9,344	8.2
中小企業融資制度貸付金	△ 90,000	△ 25.9
下水道事業会計出資金	△ 11,971	△ 4.7

繰出金	3,248,434	3,295,791	△ 47,357	△ 1.4	8.5
------------	-----------	-----------	----------	-------	-----

【主な増減事由】

後期高齢者医療事業会計繰出金	15,546	4.9
交通系ICカードを活用した経済・社会・環境の好循環創出事業費	△ 6,908	皆減
国民健康保険事業会計繰出金	△ 32,746	△ 5.0
後期高齢者医療療養給付費負担金	△ 12,485	△ 1.3
介護保険事業会計繰出金	△ 3,859	△ 0.3
駐車場事業会計繰出金	△ 6,908	皆減

投資的経費	4,247,515	6,215,932	△ 1,968,417	△ 31.7	11.1
--------------	-----------	-----------	-------------	--------	------

普通建設事業費	4,247,515	6,215,932	△ 1,968,417	△ 31.7	11.1
----------------	-----------	-----------	-------------	--------	------

【主な増減事由】

赤れんがパーク等整備事業費	89,447	9,649.1
公私連携幼保連携型認定こども園等整備事業費	95,219	皆増
私立認定こども園移行改修費支援事業費補助金	130,111	131.9
まちづくり推進事業費	81,936	324.1
京都府中・北部地域消防指令センター整備事業費	142,826	3,699.2
西消防署整備事業費	83,600	皆増
施設整備事業費（小学校費）	169,587	263.8
中総合会館整備事業費	69,979	皆増
地域の魅力発信等向上事業費	△ 91,067	皆減
地方創生拠点整備事業費	△ 671,074	△ 61.4
地域密着型サービス拠点施設整備費補助金	△ 200,505	皆減
次期最終処分場整備事業費	△ 686,571	皆減
清掃事務所施設改修事業費	△ 87,760	△ 47.5
清掃事務所第一工場整備事業費	△ 388,304	△ 31.1
幹線道路整備事業費	△ 124,487	△ 23.6
道路施設長寿命化事業費	△ 64,396	△ 65.6

② 基金残高の状況

一般会計では、財政調整積立金が7億4,655万円の増、都市開発推進基金が3億4,774万円の増、ふるさと応援基金が7,066万円の増、公共施設等整備基金が6,791万円の増、新たに設置したスポーツ施設整備基金が5,500万円の皆増となる一方で、学校給食運営基金が1億1,377万円の減などによって、全体では10億8,878万円の増となり、特別会計では、国民健康保険事業基金が1億4,699万円の増、駐車場基金が710万円の減などによって、1億3,963万円の増となり、全会計では、12億2,841万円の増となりました。

	令和3年度末	積立	取崩	令和4年度末
	千円	千円	千円	千円
一般会計	11,310,508	1,330,180	241,398	12,399,290
財政調整積立金	3,416,998	746,550	0	4,163,548
減債基金	908,057	1,000	250	908,807
職員退職手当基金	652,000	1,000	0	653,000
その他	6,333,453	581,630	241,148	6,673,935
特別会計	1,409,475	210,371	70,745	1,549,101
計	12,719,983	1,540,551	312,143	13,948,391

③ 市債残高の状況

一般会計では、建設地方債が6億4,061万円の減、臨時財政対策債等が14億8,364万円の減となり、全体では21億2,425万円の減となりました。

また、企業会計では、水道事業債が1億6,339万円の減、下水道事業債が6億9,124万円の減、病院事業債が6,293万円の減になったことにより、あわせて9億1,756万円の減となりましたことから、全会計で30億4,181万円の減となりました。

	令和3年度末	償還	借入	令和4年度末
	千円	千円	千円	千円
一般会計	37,091,015	3,677,639	1,553,390	34,966,766
建設地方債	20,329,247	2,194,000	1,553,390	19,688,637
臨時財政対策債等	16,761,768	1,483,639	0	15,278,129
企業会計	33,980,549	2,702,560	1,785,000	33,062,990
計	71,071,564	6,380,199	3,338,390	68,029,756

3 特別会計の決算状況

① 国民健康保険事業会計

	令和4年度 決算額 A	令和3年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 令和2年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	8,094,674	8,054,633	40,041	0.5	7,973,910
歳出総額 b	8,051,305	7,794,147	257,158	3.3	7,818,660
歳入歳出差引 c = a - b	43,369	260,486	△ 217,117	△ 83.4	155,250
翌年度に繰り 越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	43,369	260,486	△ 217,117	△ 83.4	155,250

国民健康保険事業は、平成30年度以降都道府県が責任主体となり財政運営を行っています。歳入においては、団塊世代の後期高齢者への移行等による被保険者数の減少から、当初見込みに比べ保険料収入が減少、不足分については基金繰入しました。歳出においては、保険給付費は減少しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により1人当たり医療費は増加しました。令和4年度決算では、歳入総額で8,094,674千円、前年度比0.5%、歳出総額で8,051,305千円、前年度比で3.3%いずれも増となり、歳入歳出差引43,369千円の黒字となりました。

② 貯木事業会計

	令和4年度 決算額 A	令和3年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 令和2年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	715	628	87	13.9	1,018
歳出総額 b	715	627	88	14.0	1,018
歳入歳出差引 c = a - b	0	1	△ 1	皆減	0
翌年度に繰り 越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	0	1	△ 1	皆減	0

貯木事業会計は、平地区の海域で舞鶴市が管理・運営を行っております舞鶴市貯木場に係るものですが、当貯木場は、平成17年7月より使用を休止しており、今後の利用計画が決定するまでの間、必要最小限の施設の維持管理を行っています。

令和4年度決算につきましては、歳入は、排水設備設置に係る行政財産使用料、基金繰入金等であり、歳入合計は715千円、前年度に比べ87千円の増となりました。

また、歳出は、貯木場施設の維持管理に係る経費であり、灯浮標の点検及び部品の交換を行ったことから、歳出合計は715千円、前年度に比べ88千円の増となりました。

③ 駐車場事業会計

	令和4年度 決算額 A	令和3年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 令和2年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	44,088	104,461	△ 60,373	△ 57.8	39,536
歳出総額 b	44,087	96,039	△ 51,952	△ 54.1	25,750
歳入歳出差引 c = a - b	1	8,422	△ 8,421	△ 100.0	13,786
翌年度に繰り越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	1	8,422	△ 8,421	△ 100.0	13,786

駐車場事業においては、4駐車場すべての管理を市直営としております。
 駐車場の利用状況は、令和4年度は前年度に比べて、駐車台数は約41%増、駐車場使用料は約69%増となっています。
 令和4年度決算については、歳入は使用料、駐車場基金からの繰入金及び令和3年度からの繰越金等であり、歳入総額は44,088千円で、前年度に比べ60,373千円の減。一方で歳出は、駐車場施設に係る土地賃借料、管理委託費等の施設管理費、七条海岸駐車場整備工事、南田辺駐車場区画線設置工事費等であり、歳出総額は44,087千円で、前年度に比べ51,952千円の減となり、この結果、歳入歳出差引は1千円の黒字となりました。

④ 介護保険事業会計

(保険事業勘定)

	令和4年度 決算額 A	令和3年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 令和2年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	8,664,704	8,556,171	108,533	1.3	8,279,427
歳出総額 b	8,347,804	8,265,125	82,679	1.0	8,207,938
歳入歳出差引 c = a - b	316,900	291,046	25,854	8.9	71,489
翌年度に繰り越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	316,900	291,046	25,854	8.9	71,489

令和4年度の介護保険事業・保険事業勘定におきましては、第8期介護保険事業計画（令和3～令和5年度の3ヶ年）に基づき、保険給付や地域支援事業等を実施しました。
 要介護・要支援者等の認定者数は、4年度末で 5,390人となり、前年度末と比較して 28人減少。また、サービス利用者数は、5年2月時点で 4,791人と、前年同期と比較して 46人の減少となっております。保険給付の増加などにより、4年度決算では、歳入総額は 8,664,704千円で、前年度に比べ 108,533千円、1.3%の増、歳出総額は 8,347,804千円で、前年度に比べ 82,679千円、1.0%の増となり、歳入歳出差引は 316,900千円の黒字となりました。

(介護サービス事業勘定)

	令和4年度 決算額 A	令和3年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 令和2年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	11,397	10,685	712	6.7	9,416
歳出総額 b	7,025	6,223	802	12.9	5,582
歳入歳出差引 c = a - b	4,372	4,462	△ 90	△ 2.0	3,834
翌年度に繰り 越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	4,372	4,462	△ 90	△ 2.0	3,834

介護サービス事業勘定におきましては、城南地域包括支援センターにおいて実施しております介護サービス事業に関するもので、歳入総額では、介護予防支援費収入などで 11,397千円、歳出総額はケアプランの作成業務などで 7,025千円となっており、歳入歳出差引では 4,372千円の黒字となっております。

⑤ 後期高齢者医療事業会計

	令和4年度 決算額 A	令和3年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 令和2年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	1,453,915	1,373,490	80,425	5.9	1,359,081
歳出総額 b	1,447,703	1,366,690	81,013	5.9	1,353,951
歳入歳出差引 c = a - b	6,212	6,800	△ 588	△ 8.6	5,130
翌年度に繰り 越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	6,212	6,800	△ 588	△ 8.6	5,130

後期高齢者医療事業については、後期高齢者医療制度によって、市が徴収した保険料、一般会計からの繰入金などを受け入れ、府内の全ての市町村が加入する京都府後期高齢者医療広域連合が主体となり市町村と役割分担をして運営しています。

具体的には、広域連合が、被保険者の認定や保険料の決定、保険給付の審査・支払等を行い、市では、保険料の徴収のほか、保険証の引き渡しや各種届出の受付などの窓口業務を行っています。

これに伴い、会計経理についても、歳入で保険料、一般会計からの繰入金等を受け入れ、歳出で職員給与費の事業運営費等を除いて、全て広域連合へ納付しています。

令和4年度決算における歳入歳出差引は6,212千円ですが、これは、出納整理期間中に納付された令和4年度の保険料であり、令和5年度に繰り越して広域連合へ納付します。

4 主要財政指標等の推移（平成30年度～令和4年度）

項 目	年 度				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
財 政 力 指 数	0.696	0.681	0.671	0.654	0.640

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額／基準財政需要額で得た数値を過去3ヶ年平均したものです。
この数値が1に近いほど財源に余裕があるとされています。

経常収支比率（%）					
一 般 会 計	95.6	93.9	95.1	89.6	94.2
普 通 会 計	96.5	95.1	95.1	89.6	95.4

経常的一般財源（歳入：市税、譲与税、普通交付税等）に対する経常的経費（歳出：人件費、扶助費、公債費など容易に縮減が困難な経費）充当一般財源の割合です。その大きさによって財政の健全性、弾力性をみることができる総合的な指数です。

令和4年度一般会計の経常収支比率につきましては、令和3年度に比べ、歳入で法人事業税交付金で約0.5億円、地方消費税交付金で0.4億円、地方交付税が普通交付税の年度途中での追加配分もあり約2.7億円の増となったものの、臨時財政対策債が約11.2億円の減となり、経常的一般財源の額（分母）は、約10.0億円の減となりました。

一方、歳出では、経常経費充当一般財源の額（分子）が、補助費において約1.4億円、人件費で約0.7億円の減となったものの、物件費で約2.6億円の増となり、この結果、経常収支比率は一般会計の前年度比で4.6ポイントの増加となりました。

公債費負担比率（%）	15.1	15.5	15.1	14.6	14.8
------------	------	------	------	------	------

一般財源総額に対する公債費に充当された一般財源の割合で、この率が高いほど財政運営の硬直性の高まりを示します。

公 債 費 比 率（%）	9.2	9.4	9.6	9.7	10.1
--------------	-----	-----	-----	-----	------

経常的一般財源に対する地方債にかかる元利償還に要する経費の割合です。

5 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率等の状況

(単位：%)

健全化判断比率	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実質赤字比率	—	—	—	—	—

一般会計等の赤字の程度を指標化したもので、(一般会計等の赤字額) / (標準財政規模) で求められる数値です。この数値が高いほど財政運営状況が深刻であると判断されます。

連結実質赤字比率	—	—	—	—	—
----------	---	---	---	---	---

市の全ての会計の赤字・黒字を合計した場合の赤字の程度を指標化したもので、(全ての会計の赤字・黒字を合算した場合の赤字) / (標準財政規模) で求められる数値です。この数値が高いほど市全体の財政運営状況が深刻であると判断されます。

実質公債費比率	11.2	12.0	12.4	12.8	13.1
---------	------	------	------	------	------

標準財政規模に占める実質的な公債費(他会計の公債費に対する一般会計繰出金等を含む)に費やした一般財源の割合を表す数値の過去3ヶ年平均値です。18%以上の団体は、地方債の発行に際し、都道府県知事の許可が必要となります。さらに、25%以上になると、財政健全化計画、35%以上になると、財政再生計画の策定が義務付けられています。

将来負担比率	107.2	111.1	108.6	92.8	78.5
--------	-------	-------	-------	------	------

地方債や、他会計の公債費に対して支出が見込まれる一般会計繰出金など、将来支払っていく可能性のある負担等の年度末時点における残高(充当可能財源等を除く)の、標準財政規模に占める割合を指標化した数値です。この数値が高いほど将来、財政を圧迫する可能性が高いと判断され、350%以上になると、財政健全化計画の策定が義務付けられています。

公営企業の資金不足比率					
水道事業会計	—	—	—	—	—
下水道事業会計	—	—	—	—	—
病院事業会計	—	—	—	—	—
貯木事業会計	—	—	—	—	—

企業会計の資金不足(赤字)の程度を指標化したもので、(それぞれの企業会計の資金不足額) / (それぞれの企業会計の事業の規模) で求められる数値です。この数値が高いほど企業会計の財政運営状況が深刻であると判断されます。

※実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は赤字又は資金不足が発生した場合のみ算出されるもので、比率が算出されない場合は「—」と表示しています。